

三年
国語
Gアップシート
話聞5

組
番・氏名

## ★日曜日の部活動の取り組み方について話し合おう

◇石割中学校は部活動が盛んで、休みの日も積極的に活動を行っていました。しかし、生徒の中から「学習に落ち着いて取り組む日も必要ではないか」という意見が出されたため、日曜日の部活動の取り組み方について各学級で話し合い、意見をまとめることになりました。



司会 では、『日曜日の部活動の取り組み方』について、学習への取り組みと関わらせて意見のある人はいませんか。

鈴木 私は日曜日の部活動はやめるべきだと思います。毎日部活動をしていると疲れてしまって、勉強をする体力が残っていないからです。

岡田 それは体力がまだ足りないからだと思います。

高橋 A 毎日毎日部活動が続くと、体力が回復する時間のないまま一週間が終わり、また次の週が始まってしまいます。週に一日くらいは部活動を休みにする日が必要だと思います。

大野 私も鈴木さんの意見に賛成です。私の家では日曜日に家族で何かしようとしても、部活動があるからとやめてしまうことが多いです。部活動が生活の中心になっているのはおかしいと思います。

司会 B 他に意見はありませんか。

岡田 私は日曜日の部活動をやめる必要はないと思います。大会で勝つには練習が必要で、少しでも練習の時間を多くとるには休みの日が重要だと思います。

福田 練習試合ができるのは休みの日だけなので、日曜日こそ部活動を積極的にしたいと私は思います。勉強はそれ以外の時間でも十分にできるのでいいでしょうか。

山内 私は福田さんの意見には反対です。勉強より部活動を優先するのはおかしいと思います。

福田 それは大会で負けてもいいってことなの。

山内 そういうことではなく、学校生活で一番大切なのは勉強なので、部活動の合間に勉強をするというのは順番が逆だと思っております。

岩瀬 今までの意見を聞いてみると、運動部のことを考えた意見が多いような気がします。文化部の人達にも意見を聞いてみてはどうでしょうか。

(話し合いは続く)

問一 B は、大野さんの発言に対する司会者の発言が入ります。ここに入るものとして最も適切なものをア～エから一つ選びなさい。

【相手を説得するための根拠を明確にする】

ア 大野さん、他の人の意見を良く聞いて発言するようにして下さいね

イ 大野さん、勉強と部活動の関わりで意見を述べるようにして下さいね

ウ 大野さんの意見に賛成です。家庭の行事も大切だと思います

エ 大野さんの意見は新しい視点を提示していて、良い意見ですね

問二 A には、「他の人の意見に関わらせた発言」にするための言葉が入ります。どのような言葉が入ればよいか、高橋さんの発言がつながるように書きなさい。

【他の人の意見や考えをふまえて自分の意見を述べる】

問三 話し合いの中で、場に応じた言葉遣いになっていない発言がありました。その発言を探し、場に応じた正しい言葉遣いに直しなさい。

【場に応じた言葉遣いで自分の意見を述べる】

問四 話し合いに参加していた山本さんは、発言された意見を次のようにまとめてメモしました。空らんに入るものを、あとのア～オから二つ選びなさい。

【他の人の意見のよいところを指摘する】

日曜日は部活動をやめるべき	
日曜日に部活動をしてよい	・練習試合は休みの日にしかできない ・勉強は部活動時間以外にできる

- ア 疲れて勉強する体力がなくなる
- イ もっと遊んだりする自由な時間が欲しい
- ウ 部活動を勉強より優先するのはおかしい
- エ 大会で勝つことより勉強の方が大切だ
- オ 多くの人が勉強したいと思っている



問五 岩瀬さんの発言は、どのような意図を持った発言でしょうか。ア～エから最も適当なものをつ選びなさい。

【課題の解決に向けて、より多くの発言を求める】

- ア 話し合いの展開が行き詰まってしまったので、新しい考えを提示したいと思った。
- イ 話し合いがかみ合っていないと感じたので、今までの論点を整理したいと思った。
- ウ 話し合いが多数意見に流れそうだったので、少数意見にも目を向けたいと思った。
- エ 話し合いの視点がかたよっている様なので、別な立場の意見を聞きたいと思った。

【話聞5 日曜日の部活動の取り組み方について考えよう】

問一 イ 問二 私は鈴木さんの意見に賛成です

問三 (例) それは大会で負けてもいいということですか

問四 ア、ウ 問五 エ

解説

問一 意見を述べるときには、話し合いのテーマに対して意見と根拠がしっかり結びついてるか注意しましょう。部活動と勉強を関わらせての話し合いなのに、大野さんの発言は勉強と関わっていません。

問二 話し合いの時には、他の意見に触れながら発言すると、自分の意見と他の意見との関係をはっきりさせることができます。高橋さんの意見は「日曜日の部活動はやめるべきだ」という点で鈴木さんの意見と同じですので、それをはっきりさせてから自分なりの意見を述べます。

問三 話し合いの中で福田さんの二回目の発言だけが、丁寧な言葉遣いができていませんでした。場に応じた話し方ができるように意識しましょう。

問四 自分の持っている意見と違う意見でも、よいと感じる意見は取り入れて、自分の意見を深めたり、見直したりしましょう。イ、エは話し合いの中で触れていません。エは話し合いの中で否定されています。オはこの話し合いでははっきりりしません。

問五 岩瀬さんは話し合いの流れをとらえ、多様な意見を引き出す提案しています。

司会者として話し合いに参加するときはもちろん、それ以外の立場で参加するときも、話し合いがスムーズに進むように協力するようにしましょう。その方法としては

- ・ 目的にそって有効な話し合いの進め方を提案する
- ・ 他の意見をよく聞いて、関連させながら発言する
- ・ などを意識するといいでしょう。